

かけはし

ふじみ野市自治組織連合会だより

令和新時代

— 新年のご挨拶 —



自治組織連合会長
原田 晴男

新年あけましておめでとうございます。今年も、会員皆様におかれましては、令和はじめての新春をお迎えのこととお慶び申し上げます。旧年中は、自治組織活動に多大なるご協力をいただき、厚く御礼申し上げます。昨年は市内で、台風・豪雨災害により多大な被害が発生し、多くの皆様が被災されましたこと改めてお見舞い申し上げます。さて、今年は日本、そして世界のビックイベント「東京オリンピック・パラリンピック」の開催年でもあります。大きな期待をもつて応援してきたいと思います。



ふじみ野市長
高畑 博

新年明けましておめでとうございます。皆様におかれましては、清々しいお気持ちで新春をお迎えのこととお慶び申し上げます。また、日頃より市政運営に格別の御理解と御協力を賜り、厚くお礼申し上げます。さて、昨年は、台風災害をはじめとする度重なる災害により、市内に限らず国内の各所において甚大な被害が生じてまいりました。被害に遭われた皆様にご心からお見舞い申し上げます。

そして、今年より自治組織連合会主催で、「オールふじみ野・スポーツフェスティバル」を、ふじみ野市第二運動公園（旧福岡高校跡地）で開催します。

これは現在、東地域・西地域でそれぞれ開催しているフェスティバルを、四年に一度（オリンピック開催年）一か所で開催します。多くの皆様の参加を願っています。

さて、今年度も事業活動の中では、行政と手を携えて「安心で安心に暮らせる街づくり」を推進いただいております。その一つには、今年度空き家対策対応について、市内の空き家等が管理不全とならないよう対策を進めるため、自治組織連合会では、ふじみ野市と「空き家等の対策に関する協定」を、

防災力の強化と地域住民の繋がりの大切さを実感いたします。

各自自治組織においては、四季折々のイベントや美化活動、防犯・防災活動など様々な活動が行われております。また、貴連合会においても、「オールふじみ野市民スポーツフェスティバル」の初開催に向けた取組をはじめ、自治組織相互の連携強化や地域の活性化に向けた活動を精力的に展開されており、素晴らしい活動を通じて、人と人が繋がりが、地域の絆が深まっていくものと認識しております。皆様のためまぬ努力と取組に改めて敬意と感謝の意を表する次第でございます。

平成から令和へと年号が変わり、

10月1日に締結しました。

「ミニミニチャイロ」活動において、町内パトロールをはじめ将来を担う子供達の、見守り支援活動をはじめ様々な事業を展開してまいります。

いつ何時、不測の事態が起こるか分からない昨今、それには平素から防犯・防災対策が必要です。過去の大きな災害の教訓等を生かす一つの事業からも、自治組織の役割が必要とされてきています。行政・自治組織一体となって「隣近所に住んでいるのは何かの縁」をキヤッチフレーズに、町会・自治会・町内会の加入運動をさらに進め、あったかいふじみ野市実現に向かつて邁進してゆきます。

本年も会員皆様のご支援ご協力をお願いいたします。

この新たな時代を心豊かに健やかに過ごすためには地域の絆を揺るぎないものとし、更に広げていくことが肝要であると考えております。そのためにも市といたしましては、絆の輪を広げる取組への支援強化を図ってまいります。そして、皆様と共に築き上げてきたふじみ野市を更に発展させるため、鋭意努めてまいりますので、今後とも御理解、御協力を賜りますようお願い申し上げます。

結びに、貴連合会並びに各自治組織の更なる御発展と、皆様の御健勝、御多幸を心から祈念申し上げます。年頭のご挨拶とさせていただきます。

市民スポーツ フェスティバル

今年度は、10月13日に開催を予定していた、東地域スポーツフェスティバル及び西地域亀小ブロックスポーツフェスティバルが、台風の影響で中止となりました。

しかし、他の日程で行われた5会場では、本年オリンピックの開催をひかえたスポーツ熱の高まりの中、盛大に開催。体をうごかし、地域友好を深める秋の一日となりました。

●大井小ブロック

実行委員長 堀内 一男

十月十九日(土)、「第十一回西地域市民スポーツフェスティバル大井小ブロック大会・令和元年度大井小学校PTA子どもフェスティバル」が大井小学校体育館に於いて行われました。同時開催は実に三年振りとなり、地域協働学校に相応しい大会となりました。

会場に集まった約二百五十人の市民の皆さまと大井小学校の児童が終始和やかなムードの中、競技やアトラクションを存分に楽しみました。競技種目は次の通りです。①徒競走三十m走(桜ヶ丘東)②テカパン走(桜ヶ丘仲)③スプリン走(赤土原)④パン食い競走(苗間旭)⑤玉入れ対抗(大井中央)、以上五種目の競技を実施しました。【※】内は担当町会

昼休みには、「大井小学校おや



じの会」の皆さまが、炊き出し訓練を兼ねて、「焼きそば」を作ってください、その焼きそばを食しながら、いきいきクラブ「親和会」の皆さんによる「百歳音頭踊り」を鑑賞しました。

終始和やかな大会で何事もなく、無事に終了する事が出来ました。

結びになりますが、今大会々場校として学校施設の開放をはじめ、全面的にご協力を頂きました大井小学校 校長先生を初め先生方。また、PTAの皆さまのご配慮、ご協力に深く感謝申し上げます。そして、何よりも影の立役者である、各町会役員の皆さま方のご協力に感謝申し上げます。ありがとうございます。

●東台・東原小学校ブロック

実行委員長 石田 和久

10月27日東台小学校にて5町会(大井本町、コスモふじみ野、みほの、苗間東、エステ・スクエアふじみ野)主催の「スポーツフェスティバル」を開催しました。天候にも恵まれ約600人の参加者で大いに盛り上がりました。

小学校を中心にその児童、先輩の中学生、両親、祖父母とご近所の皆さんが集い競技を楽しみました。家族の絆、地域の絆を強く感じる風景でした。



古臭いとも思われようが来年も再来年も継続して欲しいと願うイベントでした。

●鶴ヶ丘小学校ブロック

実行委員長 浅見 寿男

7町会(鶴ヶ岡1・2・3・4、緑ヶ丘、亀居、七彩の街)合同の市民フェスティバルが鶴ヶ丘小学校にて10月6日(日)に行われました。参加者は約300名、時々小雨が降る生憎くの天気。参加者は空模様を気に



しながらのフェスティバルとなりましたが、町会対抗の「任釣り競争・お玉リレー・玉入れ」や自由参加の「グラントドルフ・パン食い競争・30&60m走」、また昼食時間にはお弁当を食べながらの「かつき太鼓」「ひよっここ踊り」のアトラクションを楽しむことが出来ました。町会対抗競技では七彩の街が第1位、プログラム最後の「お楽しみ抽選会」は大変盛り上がりました。

●西原小学校ブロック

実行委員長 渡辺 利文

今回は学園町会が担当町会となり準備を進めた。

実行委員会を組み、5回の会議を開き、参加者の確保、安全・安心してみんなが参加できる競技内容を検討。また、市からの要請である防災に関する競技といたことで町会対抗競技をバケツリレーに決め、参加賞を防災に関する「防犯帽子」にした。



10月20日(日)

当初、体育館は、学校の音楽会行事の準備で体育館が利用できなかったのですが、グラウンドから体育館に変更できました。西原小学校の援助、ご理解のもとでした。本当に感謝です。大きな怪我也なく参加者全員が楽しく、交流が生まれました。

●三角小学校ブロック

実行委員長 穴田 義男



前日は大雨となりましたが、水はけのよいグラウンドのおかげで、十月二十日(日)に予定通り実施することができました。競技については、グラウンドゴルフ、スマイルボーリング、パン食い競争、玉入れを実施し、最後にお楽しみ抽選会を行い終了となりました。

今回は第十回目の大会で参加人数も二八〇名をこえ、けが人もなく、皆さんわきあいあいと楽しく大会を終了することができました。

部会報告

HUG訓練に参加して

防災部会長 馬場 健次

「HUG」とは、静岡県で開発された(H)避難所・(U)運営・(G)ゲームを言い、避難所で起こり得る様々な出来事にどのように対応していくかを、カードを使って模擬体験するものです。この研修が、災害時における避難所運営力の向上を目的に、避難所運営委員や運営に携わることが想定される方を対象に、令和元年六月二十八日(金)に市役所大会議室で埼玉県自主防災組織リーダーを講師に、午前・午後の二回に分け開催しました。五十七の自治組織から八十二名が参加し、セグループに分かれ、与えられた課題をグループで相



話し答えを決め、発表・意見交換を行いました。

十一月に行われた第八回総合防災訓練で、指定避難所を担当した方には、この研修が大いに役立つのではないかと確信しています。

「ひたちなか安全運転中央研修所」視察研修

防犯・交通安全部会長 松本 元明



十一月二十五日、部会として茨城県ひたちなか市の「ひたちなか安全運転中央研修所」を視察研修しました。この研修所は安全運転技能や知識の向上を図ることを目的として、平成三年に開設されたもので、東京トールム二十個分の広大な敷地に、運転上の危険を安全に体験できるコースなど、総合的な安全運転

研修施設です。

研修ではまず、基本的な横断歩道の渡り方を確認。次に、コースに出て実際に車を使い、車道における子供への注意や左折時事故における内輪差への注意など実感をもって研修しました。さらに、歩行中の交通事故者の半数以上が、夜間の被害者であることから、夜間における歩行者が運転者からどのように見えるか、そして夜間における反射材の効用などを室内の照明を落として実際に体験。おわりに、飲酒時の酩酊状況を再現するゴーグルをかけて歩行してみるなどして、飲酒運転の危険性をあらためて確認しました。

当日は、三十人の方々の参加となり、有意義な研修を終えることができました。



令和元年度主要行事・会議

- 六月 第一回定例役員会
東地域町会長連絡会議
西地域町会長連絡会議
HUG訓練
- 七月 (防災部会)
第二回定例役員会
第十九回おい祭り
「かけはし24号」発行
(広報部会)
- 八月 第三回定例役員会
第六十五回
上福岡七夕まつり
第十一回福岡河岸祭り
- 九月 第四回定例役員会
東地域町会長連絡会議
第五回定例役員会
- 十月 市民スポーツ
フェスティバル
- 十一月 自治組織加入促進月間
第八回市総合防災訓練
「ひたちなか安全運転中央研修所」視察研修会
(防犯・交通安全部会)
- 十二月 第六回定例役員会
西地域町会長連絡会議



町会・自治会の紹介



滝自治会長
宮寺 聖治

滝自治会は滝地区にお住まいになります世帯並びに団体等で組織し地域住民の親睦と福祉の増進をはかることを目的として次のような事業を実施しております。

グラウンドゴルフ大会（5月下旬 福岡小学校校庭で開催・近年家族参加が増傾向・子どもの参加賞準備）、納涼盆踊り大会（7月中旬長宮水川神社境内で開催・会員の3割以上参加・会員にはお楽しみ券配布（かき氷・焼き

そば等の引換券）子ども向けの踊りも組入）、会員親睦旅行（9月上旬開催・親子夫婦参加が増傾向）、高齢者の集い（9月中旬集会所で開催・茶話会・防災研修等もあり・欠席者には役員がふれあい活動）、市民スポーツフェスティバルへの参加（市民スポーツ大会参加・炊き出し訓練としてカレーライス昼食提供有り）、芋掘り大会（10月中旬下旬地区内開催）、防災訓練（市主催防災訓練に参加・民生委員との避難行動要支援者訪問）、餅つき大会（12月中旬ケアサポーターふじみの駐車場借用・臼で手つきの餅つき体験）等々です。

その他、会員に滝自治会集会所の貸出、自治会備品貸出、並びに民生委員活動や社会福祉協議会活動（赤い羽根、歳末たすけあい募金等）等に協力し、次世代との交流として花の木中学校のボランティア活動を積極的に受入しております。尚、課題として高齢者世帯会員（70歳以上）の高齢者世帯・同居が会員の43%超の退会防止と加入率（現状40%）の向上、ブログ等を通じて広報の充実（QRコード含む）、自治会防災手帳の活用と防災訓練（洪水も含む）参加率の向上、自助・共助の絆を強める活動等があり、課題解消し

て参ります。



滝自治会グラウンドゴルフ大会 令和元年5月26日 福岡小学校校庭



鶴ヶ岡四丁目町会長
笹目 和章

鶴ヶ岡四丁目自はスーパービバホーム、ホンダ学園近くの街、世帯数、人口ともふじみ野市中では比較的小さな町会。四丁目町会の特徴は4つの自治会で町会を構成していることです。昔からの自治会もあり自治会内では皆さん顔見知りとなっておりますが自治会を超えた町会レベルではお互い顔見知りというのはまだまだ少ない状況で互いに顔を知らなくてもいい（顔見知り事業）との名目で5月にグラウン

ドゴルフ大会、7月に町会防災訓練（バーベキュー大会）、9月に芋ほり体験、12月には餅つき大会と事業活動を実施しています。各顔見知り事業には住民50名〜150名ほどが参加、皆さんには楽しんで戴いているものと思っております。更に、町会と支部社協共催でびんしゃん体操の実施日に「お困り事なんでも相談室」を開催、日頃お困りのことを顔の見える関係のなかで、地域で困っている高齢者や援助の必要な方に「出来る人が、出来る時に、出来ること」を、出来る範囲「でこの発想でお手伝いし地域でお互いに支え合う関係



作りをしていく活動も行っています。最近はこの町会でも大変なのは役員さんのなり手がいないこと、また会員の高齢化による活動の困難さであろうと思っております。当町会も他町会と状況は同じですが、各事業にボランティアを募集し（出来る人が、出来る時に、出来ること）を、出来る

範囲の発想）役員さん以外に多くの方々に協力を戴き事業を行っています。当初はボランティアが集まるのが不安はありましたが、役員となるのは困難だが事業毎への協力はしたいという人はいらっしや各事業には6名〜20名程度の方々に協力をして戴いております。今年度は「地区防災計画」を町会関係者や支部社協、民生委員、ボランティアなどに入ってもらい作成、町会活動が住民の皆さんに「防災」の面からも大変意義のあるものと理解してもらい、町会活動をより活発にしていきたいと考えています。

編集後記

災害の多かった昨年の秋でした。

「まさかあの堤防が決壊するとは」長野の穂保で被災した知人の一言です。災害を自分のこととして捉えるのは難しいものですが、自助こそ命を守る基本だと改めて思っています。

さて、企画会では、委員さんから自治連合会の機関紙としてのあり方を問う意見がありました。皆さんに興味をもって頂ける内容は、いかに。

次号への大きな課題をいただきました。まずは、一歩づつ、新たな企画に挑戦してまいります。

本年もごちやうへ

お願いします。致します。

